

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第1回厚生・教育部会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第1回厚生・教育部会）
2 日 時	令和6年8月26日 午後3時25分から午後5時00分まで
3 会 場	市役所本庁舎 2階 202・203会議室
4 出 席 者	荒川玲子部会長、竹花のり子副部会長、鳥羽泰之委員、永井理恵委員、高橋比呂美委員、城田真裕委員、関綾音委員、中島冬陽委員、丸山宏尚委員
5 市側出席者	北島福祉部長、室賀健康こども未来部長、小野沢教育次長、掛川学園都市推進室学園都市推進係長（学園都市推進室長代理）、柳沢福祉課長、上田障がい者支援課長、高寺高齢者介護課地域包括ケア推進係長兼高齢者支援担当係長（高齢者介護課長代理）、櫻井健康推進課長、小林地域医療政策室長、坂口国保年金課長、久保田保育課長、加々井子育て・子育て支援課長、町田教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、小須田学校保健給食課長、上原生涯学習・文化財課長、滝澤城南公民館長（中央公民館長代理）、金田上田図書館長、坂部市立博物館長、小場福祉課庶務施設係長、前沢健康推進課健康政策担当係長、鈴木教育総務課企画担当係長、堀内政策企画課政策企画担当係長兼政策研究担当係長、熊王政策企画課主任
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 なし
8 会議概要作成年月日	令和6年9月10日

協 議 事 項 等

1 開会（福祉課長）
2 あいさつ（福祉部長）
3 委員自己紹介
4 市側出席者自己紹介
5 正副部会長選出 部会長 荒川 玲子 委員 副部会長 竹花 のり子 委員
6 正副部会長あいさつ
7 議事 (1) 第二次総合計画後期まちづくり計画の検証について ・資料に沿い、福祉課長から第二次総合計画後期まちづくり計画の検証について説明 (委 員) 総評の計算方法が知りたい。また新しい取組を提案したい時はどのようにしたらよいか。 (事務局) 点数の算出方法については機械的に算出している。A～Dまでの各評価に点数が付いており、各事業の平均点を出している。施策全体の平均点と考えてもらい、あくまでも目安としてほしい。現在の資料に載っていない施策に関しては、本日提案頂ければそれを踏まえて素々案を考える。我々が素々案を出す時には、現時点には無いものも提案することもあるので、それを見た上で次回提案頂きたい。 (委 員) 学校の現場で、担任の先生が年度途中で様々な理由で休んでしまうという事がある。そうした際、代替の先生を校長会ははじめ手を尽くして探すなかなか見つからず、校長や教頭が代わりに入って授業をしている。保護者の立場から考えると、担任の先生が変わらずにいると子ども達の安定につながる。先生の体調が悪くなることも見越した早めの対応をお願いしたいとともに、今回の事業内容にも盛り込んでもらえないか。

(事務局) 教員の欠員補充について、従来は状況が分かる学校側で対応していたが、最近では教育委員会でも教育長を筆頭に個別にあたっているのが現状。場合によっては、県の教育事務所にも現状を聞いたりして、総力を挙げて行っている。個別で気づいた点があれば、教育委員会にもご意見を頂きたい。

(委員) P12「4-2-2」No.465について、方向性が「D」と評価されているが、「廃止・休止」よりは「デジタル化を含めて充実」と表現してもらったほうがよいのではないかと。「重視する5つの視点」にも「最先端技術の活用」と記載されているので、指標値の達成状況の指標・目標の方向性も変更を検討して頂きたい。

(事務局) 方向性については見直しをしたい。P13については「変更」という意味でご理解頂きたい。

(委員) P10「4-2-1」について、発達障がいに関する医師確保の取組はどのような状況か。

(事務局) 常勤の医師は現在1名いる。今までは2名体制だったが、なかなか難しい状況で1名体制となっている。松本市では今年4月からインクルーシブセンターを開設し、医師との相談体制を確立してきている。上田市もそのような体制が取れるか検討しているところだが、医師の診断による発達障がいの対応をしていくというのは重要になっているので、先進地から学びながら上田市も近づけていきたい。学童期になると教育相談所に特別支援担当もあり、そことの連携を深めていくというのも第3次総合計画には盛り込んでいきたい。

(委員) P18「4-3-1」③子育てしやすい環境整備 No.501についてだが、育児団体のメンバーと関わる中で、東御市にある中央公園のような公園が上田市にも整備されるとよいという意見を聞くので検討して頂きたい。

(事務局) アンケート等でも都市公園の整備は多くのご意見を頂いている。担当課に要望を伝え、第3次総合計画の中では検討するようにしたい。

(委員) 学校健診については、今回の計画で触れているか。

(事務局) 特に検証シートでは触れていない。実際には医師会の先生方の協力を頂きながら行っている。

(委員) 先ほどの学校の教職員不足に加え、保育士の不足も叫ばれている。看護師は復帰する際、研修制度があり、就業時には補助が出ると聞いている。保育士の人材確保に向けても同様にやって頂けるとありがたい。もう一点 P19 No.505、P21 No.519に「保育サービスの充実」と記載されているが、保育はサービスではなく、産業のようにお金を払って保育や幼児教育をするものではないので、「サービス」という言葉を削って頂きたい。

(事務局) 復帰制度については担当課でも確認したい。ご指摘のあった「サービス」の使い方については修正したい。

(委員) 「子ども誰でも通園制度」について、令和8年度から自治体では義務化されると思うが、令和6年度からモデル園が始まっている。上田市はなぜモデル園にならないのか。また公立保育園がモデル園をやらなくても、民間ではモデル園をやる意欲のある園が何園もある。令和8年度から始める時の上田市としての考え方と民間ではどんな取組を行えば良いのかを教えてください。

(事務局) 現状見送らせてもらっているが、令和8年度からは開始する予定で公立保育園は進めている。私立園の詳細については、別途お願いできればと考えている。十分な対応をできていないが、ご理解を頂きたい。

## (2) その他

ー特になしー

8 事務連絡

- ・ 次回部会開催日程について

日 時：令和6年11月15日（金） 午後3時頃から（全体会終了後）  
（全体会：同日午後1時30分から開催）

場 所：本庁舎2階 202・203 会議室

7 閉会